

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	薬剤師生涯教育推進事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者			
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 屋敷 次郎				
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成21年5月21日厚生労働省発医政第0521001号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の高度化・専門分化が進展する中、より良い医療を患者に提供していくために、病院や地域におけるチーム医療に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	病院や薬局等に勤務している薬剤師を対象として、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技能を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行う。【補助率:10/10】										
実施方法	補助										
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	15	15	15	10	10				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		15	15	15	10	10				
	執行額		10	9	15	-		-			
	執行率(%)		67%	60%	100%	-		-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		67%	60%	100%	-		-				
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療関係者研修費等補助金		10	10	-						
	計		10	10	-						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	24時間調剤可能な薬局の増加		基準調剤加算(1及び2(平成28年度に統合))の届出薬局数 ※基準調剤加算1…近隣の薬局と連携して24時間調剤等の体制を整備等 ※基準調剤加算2…自局単独で24時間調剤等の体制整備、在宅実績の要件化等 (注)平成28年度診療報酬改定により、基準調剤加算の1と2は統合され、大幅な要件の見直しが行われたため、平成27年度以前と平成28年度以降の比較及び平成28年度の目標値を定めることは困難		成果実績	件	29,691	31,127	集計中	-	-
					目標値	件	30,209	29,691	-	-	28年実績以上
					達成度	%	98	104.8	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)		中央社会保険医療協議会資料									
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
	本事業への参加人数				活動実績	人	219	274	1,045	-	-
					当初見込み	人	220	219	274	513	-

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	X:事業の執行額(千円) / Y:本事業への参加人数(人)	単位当たりコスト	千円	45	33	15	20
		計算式	X / Y		9,750/219	8,947/274	15,482/1,045

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること( I - 6 )							
		施策	医薬品の適正使用を推進すること( I - 6 - 3 )							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度	
								- 年度	- 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	病院や薬局等に勤務している薬剤師を対象として、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技術を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行うことで、基準調剤加算(1及び2)の届出数の増加の推進に寄与する。									
	改革項目	分野:	-	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
					- 年度			- 年度	- 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				- 年度			- 年度	- 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、国が実施すべき事業といえる。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、優先度の高い事業といえる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	支出先は公募により選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	本事業に必要なものに限定されており、単位あたりのコストは妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	支出額については実績報告書等で確認を行っており、費用は、事業実施に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	平成27年度においては成果実績は見込みを上回っており、成果目標に見合ったものとなっている。平成29年度の目標については、平成28年度の実績を踏まえ、設定することとしたい。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	講演会への参加者が多かったこともあり、成果実績は見込みを大幅に上回っている。本事業の補助先は公募により選定しているところ、平成29年度事業の実施にあたっては、応募内容を精査し見込みを立てることとしたい。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-			
	所管府省名	事業番号	事業名				
			-				
点検・改善結果	点検結果	病院や薬局等に勤務している薬剤師に対し、医療現場や介護施設等における実務研修、在宅ケア推進のための医療・介護制度、医学・薬学の最新知識を学ぶための講演会を通じ、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技能の習得させることができた。					
	改善の方向性	チーム医療の推進に必要な薬剤師の資質向上を図る研修について、研修内容の精査など引き続き効果的な事業となるよう適切な予算措置に努める。なお、平成29年度予算において、これまでの執行実績等を踏まえ、予算額を縮減したところである。					
<b>外部有識者の所見</b>							
勤務薬剤師の実務研修を行う事業であり、チーム医療に貢献できる体制の整備のために必要な事業である。現状維持としたい。(増田 正志)							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
現状通り	医療機関や地域におけるチーム医療において対応・活躍できる薬剤師の養成に必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。						
<b>備考</b>							
-							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成22年度	-	平成23年度	856	平成24年度	743		
平成25年度	195	平成26年度	209	平成27年度	218		
平成28年度	217						
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">厚生労働省 15百万円</div> <p style="text-align: center;">[チーム医療や地域医療の推進に貢献する薬剤師を養成するための研修等に必要な経費の補助]</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【補助金等交付】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">A. 一般社団法人上田薬剤師会 15百万円</div>						
	<p>【オープンホスピタルによる専門薬剤師育成のための病院研修、在宅ケア推進のための医療機関・保険薬局・介護施設連携研修、高齢者・認知症を対象とする薬剤レビューワークショップ、在宅ケア推進のための医療・介護制度、医学・薬学の最新知識を学ぶための講演会】</p>						

